



合わせて作ると、
世界はもっと、おもしろい

CORPORATE PROFILE

合作株式会社（Gassaku Inc.）

「合わせて作ると、世界はもっと、おもしろい。」をキーワードに、クリエイティブと制度設計（プロトコルデザイン）で、地域・人・企業の可能性をつなぎ、新しい社会のかたちを提案していく会社です。



代表挨拶

「合わせて作ると、世界はもっと、面白い。」

合作株式会社は、元々美術専攻の自分（齊藤智彦）と、元々素粒子理論物理学専攻の西塔大海が地域を舞台に様々な合作を生み出していくことで、日本の地域を面白くしていこうと2020年に設立した会社です。そもそも、美術と物理学という全く異なる背景を持った二人なので、考え方もアプローチも全く異なります。自分たちは、異なるからこそ面白く、異なるからこそ一人では出来ないことが実現できる、正に合作の力を体現している二人だと思っています。私たちの合作は、鹿児島県大崎町を舞台に、自治体と企業、住民と共に循環型社会を目指す取り組みからスタートしました。現在は、大崎町だけでなく北海道から九州沖縄まで日本全国に様々なテーマの活動が広がっています。一方、合作を生み出すのは、いつも泥臭い仕事でもあります。異なる考えを翻訳し、目的を整理し、仕組みを検討し、間に挟まれながらなんとか前に進める行為です。幸いにして、私たちには、そんな行為に共感して、共に合作してくれるメンバーが集まってきています。合作で世界を面白く。合作株式会社はこれからも、様々な地域で面白い合作を生み出していきます。

代表取締役 齊藤智彦

本社：鹿児島県曽於郡大崎町

東京サテライト：City Lab TOKYO（京橋 / 東京スクエアガーデン 6F）

事業内容：地域おこし協力隊制度活用支援 / 公民連携事業 企画・事業化・事業伴走支援 / 官民連携組織 事務局運営 / イベント企画・運営 / 広報・PR



合作 WEB



合作 note

こちらの内容に関する
お問い合わせ先

pr@gassaku.co.jp

公民連携事業 企画・事業化・事業伴走支援

官民連携組織 事務局運営・事業推進



合わせて作る

4つの事業



イベント企画・運営

地域おこし協力隊 制度活用支援

1 官民連携組織 事務局運営・事業推進

リサイクルの町から、世界の未来をつくる町へ

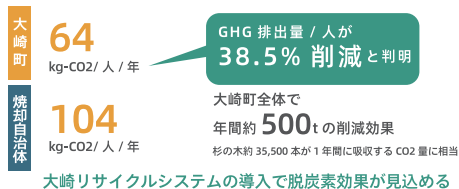


一般社団法人 大崎町SDGs 推進協議会

一般社団法人大崎町 SDGs 推進協議会は、鹿児島県大崎町が25年以上継続してきたリサイクルの取り組みを土台に、循環型のまちづくりを多面的に展開するため、2021年4月に設立されました。合作株式会社は、事務局運営および事業の推進を担っています。

Major projects

①循環を研究する



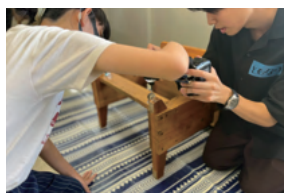
大崎町の非焼却のリサイクルシステムが、ごみを焼却するシステムに比べて、温室効果ガス排出量を4割弱削減できていることを、国立環境研究所と連携して明らかにしました。脱炭素に資する取り組みであると、エビデンスを持って言えるように。

③循環を支える建物をつくる



2024年4月開業の体験型宿泊施設。大崎のリサイクルの基盤である、〈日常にリサイクル行動が溶け込んだ住民の暮らし〉を、宿泊しながら体感していただくことで、未来の製品・サービス・仕組みづくりの足がかりになることを目指しています。

②循環を生み出すサービスをつくる



メグルカグ

株式会社久永と連携して、小中学校から廃棄される大量の机・椅子を引き取り、リユース・アップサイクルしていただける方に譲渡し、循環を生み出すプロジェクトです。小学生と机をアップサイクルするワークショップも実施しています。

④循環を世界に広げていく



All Compost Project

大崎リサイクルシステムのノウハウを他自治体へ広め、日本全体で環境負荷を減らすことを目指しています。主に家庭から出る生ごみや草木ごみを堆肥化する仕組みや技術を、全国に普及させる事業となっています。

2 イベント企画・運営

社会課題を“体験できる場”として設計 共感と行動が生まれるイベント・プロジェクトをつくります。

関係人口創出



鹿児島県・大隅地域の今を届け、
人と地域の関係を育てる

「タダイマ、オオスミ。」

高齢化や人口減少が進む大隅地域で、「帰っておいで」と言ってくれる人がいるあたたかな風土や文化を届けながら、地域に暮らす人、地域を離れて暮らす人、これから大隅と出逢う人をつなぎ、それぞれの形で関わり続けられる関係を育てるプロジェクトです。都市と地域をつなぐイベントやメディアを通して、帰っても離れても誰をも大隅と幸せにつなげ続けていきます。



“おおすみへ帰っておいで”本土一の隅っこだけど、独自の文化が醸されている、鹿児島県・大隅。そんな、すみにおけない！大隅人（＝すみっこじん）の楽しみ方を発信中



サーキュラーエコノミー推進



分解・分別の競技で
資源循環を楽しく学ぶ

「バラシンピック」

分解と分別を競技化し、ものをつくること／処理することの楽しさと難しさを学ぶプログラムです。競技後は参加者全員で自分が所属する場所から、資源循環社会の実現に向けて何ができるかを対話します。ものをつくる側の動脈産業と、ものを処理する側の静脈産業を体験と対話でつなげ、経済と環境の両面から必要なアクションを生み出します。※株式会社浜田との協働事業



バラすことは、つくることだ。



3 地域おこし協力隊 制度活用支援

専門家による、隊員と職員のサポート事業 制度設計から好循環をつくります。

地域おこし協力隊は地域で外部人材を活用できる重要な地方創生制度ですが、ミスマッチや地域トラブルによる自治体職員の業務負担増加が課題です。私たちは総務省委嘱の「地域おこし協力隊アドバイザー」である西塔大海を中心として、「自治体の制度設計から募集案件組成、採用、隊員の活動・起業・定住支援までを一貫して伴走支援し、安定した制度運営を実現します。

① 研修会 メニュー

- ・職員向け研修：募集採用研修、マネジメント研修
- ・隊員向け研修：初任者研修、仕事づくり研修
- ・その他、中間支援人材育成研修、制度理解研修



② 募集支援 メニュー

- ・ミスマッチを減らす募集企画づくり
- 募集企画を見直すことで応募を増やし、着任後のトラブルを激減させるノウハウがあります。運用の課題や見直し点検からお気軽にご相談ください。



③ 活動支援 メニュー

- 職員も安心できる制度運用の伴走・サポート
- ・職員サポート：専門的な相談対応、職員向けの制度研修会
- ・隊員サポート：初任者研修、起業・定住支援、個別相談



研修受講者数
約 3,000 人

年間 20～30 回、平均 15 人が参加 10 年間でおおよそ 3000 人程（対象は職員と隊員）に向けて、研修をさせていただいています。

2026 年 3 月現在

支援年数
10 年以上

事業責任者の西塔は、自身の協力隊経験を活かし、2014 年より全国の自治体向け研修や募集支援に従事。民間企業として本制度の活用・設計支援において、1 番長い実績を持ちます。

自治体支援実績数
117 件

支援実績：総務省、県庁：北海道・山形・宮城・長野・佐賀他 / 市町村：東京都新島村、宮城県丸森町、長野県安曇野市、京都府木津川市、他多数

2026 年 3 月現在

Point: 特別交付税の対象

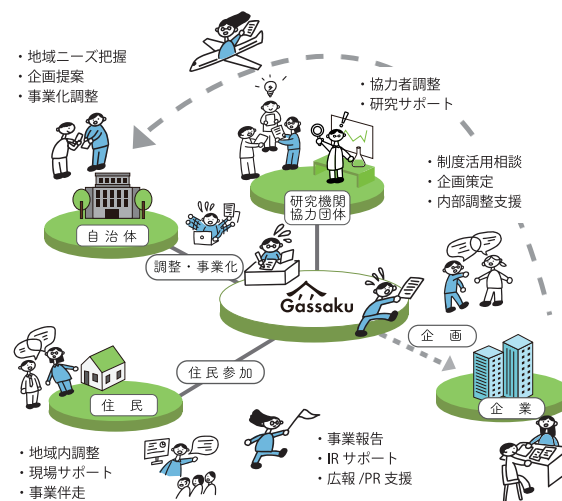
本事業の経費（募集支援・活動支援・研修）は、特別交付税の対象となります。

4 公民連携事業 企画・事業化・事業伴走支援



公民連携 × 企業版ふるさと納税 共創を加速させる企画調整伴走支援

地域と企業の連携をデザインし、社会づくりに貢献します。



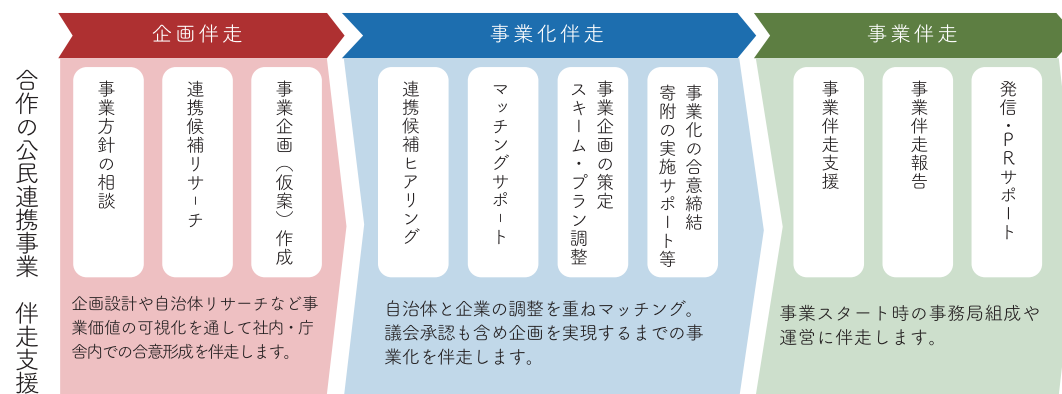
行政も、民間ビジネスも、単独ではアプローチできない「社会の隙間」。人口減少によって人手や財源が不足する今、こうした社会の隙間となる課題が生まれています。

寄附設計ラボは、この領域を埋めるため、「企業版ふるさと納税」等の国の制度を有効に活用し、新しい公民連携事業の形を企画から実装まで、伴走支援を行います。

企業と自治体のマッチングだけでなく、企画設計から、地域や企業との丁寧な対話を重ね、理想の事業をゼロからカタチにします。

「良い企画」が「良い事業」をつくり、「良い未来」を創る。私たちは、公民連携の可能性を最大化するパートナーとして、誰もが豊かに暮らせる社会をデザインします。

伴走支援フロー つなぐだけでは終わらない。事業の実現までを伴走します。



- ・伴走支援は、企画・事業化・事業単独でもご利用いただけます。
- ・既存のプロジェクトから選択するのではなく、企業と自治体での共創関係が生まれる企画設計を行います。
- ・企画の立案だけでなく社内決裁や庁内での合意形成に向けた内部調整も含めて伴走支援いたします。
- ・漠然とした課題感や制度についての相談など、お気軽にお問い合わせください。